

令和6年度

事業報告及び決算書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人いばらき文化振興財団

目 次

I 事 業 報 告	1 ~ 20
II 決 算 報 告 書	21 ~ 33

I 事業報告

総括的事項	1
1 公益目的事業1〔公1〕（文化振興事業）	1～3
2 公益目的事業2〔公2〕（水族館事業）	4～18
3 収益事業1〔収1〕（水族館売店事業）	18～19
4 法人運営事業	20

I 令和6年度事業報告

公益財団法人いばらき文化振興財団の設立趣意に則り、各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として、次の事業を行った。

総括的事項

第6期中期経営計画（2024年度～2029年度）に沿った運営に努めた。

- (1) 文化活動団体等への助成事業については、創意・工夫を凝らし積極的な取り組みを行っている文化活動団体等への支援により、文化芸術活動の主体である県民の自発的な活動を促進・伸長させるとともに、活動の活性化や文化芸術に触れる機会の地域格差の解消、文化芸術の担い手育成を図ることで、県民の豊かな感性と創造性を高める基盤づくりに努めた。

また、文化芸術創造発信事業については、県内市町村等が目指す文化振興の実現に向けて、財団が培ってきた文化芸術に関するマネジメント力を提供する事業や本県の新進演奏家の発掘から育成を目的とした支援事業、県民が文化芸術を鑑賞・参加・創造することができる環境づくり等を積極的に推進し、本県の文化振興の強化に努めた。

- (2) アクアワールド茨城県大洗水族館については、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めた。

令和6年度は、人気キャラクターとのコラボ事業や日本一の飼育種類数を誇るサメをテーマとした特別企画「超サメ展」等の効果もあって、総入場者数は計画の1,216,770人を大きく上回る1,263,206人と歴代2位の記録となり、125万人台を超える実績となった。

1 公益目的事業1（文化振興事業）

(1) 文化振興推進事業

ア 文化芸術活動への助成、情報の発信

県内各地において、創意・工夫を凝らした積極的な取り組みを行っている文化活動団体等に対し活動成果発表に係る事業費の一部を支援するとともに、活動成果発表を通し文化芸術の魅力を広く発信するため指導・助言を積極的に行いながら、文化活動を支える人材育成や創造性の向上を推進し、創り手と受け手を繋ぐ役割を担うことで豊かな感性と創造性を高める基盤づくりに努めた。

区 分	計 画	実 績	増 減
助成交付件数（件）	43	41	△2
助成交付額（千円）	11,275	10,027	△1,248

イ 文化芸術創造発信事業

各事業展開の核となる新進演奏家を発掘する「第50回茨城県新人演奏会」をはじめ、県民との協働による創作作品を造成する「県民参加オーケストラ」や周年事業となった「新人演奏会50周年記念演奏会」など、財団が独自に企画制作した創作作品を広く県民に提供し、文化芸術への興味関心を促すことに努めた。

実施日	公演名	会 場	回数	入場者数
8/11 (日) 10/12 (土) 12/21 (土) 1/12 (日) 2/23 (日)	茨城県新人演奏会 50 周年記念演奏会	県民文化センター 小ホール	5	804 人
9/29 (日)	第 50 回茨城県新人演奏会 ※公開オーディション 6 月 16 日 (日)	県民文化センター 大ホール	1	354 人
10/5 (土)	東京 21 世紀管弦楽団演奏会 「情熱のコンチェルト・オールシベリウス」	県民文化センター 大ホール	1	735 人
2/2 (日)	県民参加オーケストラ 「みんなで楽しむオーケストラ・カルメン」	ひたちなか市文化会館 大ホール	1	970 人
2/11 (火)	第 50 回茨城県新人演奏会受賞記念演奏会	県民文化センター 小ホール	1	164 人
合 計 (5 事業)			9	3,027 人

ウ 文化振興マネジメント事業

県内在住の演奏家を起用し、普及・担い手育成要素を盛り込んだ演奏会の企画制作と運営業務を受託し、文化芸術に関するノウハウを企業等に提供し、専門性を有する人材不足解消の一助を担うとともに、協働による企画制作や運営等の事業展開で文化振興に携わる人材の育成に努めた。

実施日	公演名	会 場	回数	入場者数
8/21 (水) 8/28 (水) 8/31 (土) 9/1 (日) 9/4 (水) 9/7 (土) 9/8 (日)	Traveling Performance2024 SHAKUHACHI JAZZ・クインテット	水戸市民会館 牛久エスカードホール コスモスプラザ 結城市民文化センター かすみ防災アリーナ 行方市文化会館 高萩市文化会館	7	1,213 人
2/8 (土) 2/20 (木) 2/21 (金) 2/24 (月) 3/4 (火) 3/7 (金) 3/11 (火)	Traveling Performance2025 ドリーム・ブラス・クインテット	常陸大宮市文化センター 水戸市民会館 県県西生涯学習センター 多賀市民会館 クラフトシビックホール土浦 守谷市立中央公民館 ひたちなか市文化会館	7	795 人
2/16 (日)	野口雨情 没後 80 周年記念コンサート	県民文化センター	1	1,040 人
合 計 (3 事業)			15	3,048 人

エ アウトリーチ事業

担い手の確保と文化芸術の継承を課題ととらえ、様々な文化芸術に接する機会を提供するため、県内の小中高等学校等に講師を派遣し、参加体験を通し文化芸術の魅力を発信する県受託事業「文化芸術体験出前講座」と公益財団法人日本交響楽振興財団の依頼による未来の音楽家を育成するワークショップ「東京 21 世紀管弦楽団ワークショップ」を実施し、課題解決の一助を担った。

区分		項 目		実施日	会 場	講座数	参加者数
文化芸術体験出前講座	一般	音楽	弦楽	9/21（土）	コミュニティセンター城里	1	483 人
			室内楽	12/1（日）	鉾田市立大洋公民館	1	226 人
				12/22（日）	鹿嶋勤労文化会館	1	435 人
	学校	・音楽：97 講座 ・美術：12 講座 ・美術鑑賞：1 講座 ・伝統文化：13 講座 ・リボン：3 講座 ・能楽：5 講座 ・食文化：3 講座		5 月～2 月	県内小中高等学校 特別支援学校	134	20,565 人
	東京 21 世紀管弦楽団ワークショップ			7/21（日） 8/3（土） 10/5（土） 1014（月）	県立勝田中等教育学校	4	56 人
合 計						141	21,765 人

2 公益目的事業2（水族館事業）

基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について、楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えた施設として、引き続き「さぁ、新世海！NEW WORLD NEW AQUAWORLD」を基本コンセプトに運営を行った。

大型知的財産（以下「IP」という。）コラボイベントを実施し、繁忙期はもちろん繁忙期終了後の誘客にも成功したほか、特別企画「超サメ展」を実施し、国内初繁殖に成功したサメの展示を中心にサメの繁殖生態を紹介し、期間限定の解説プログラムや有料の特別プログラムを展開し、入場者数増加の後押しをした。

入場者数については、上半期は747,198人（計画比2.7%増）と好調で、下半期はさらに季節催事や特別企画「超サメ展」や名前のないタコなど話題性のある展示生物や学割キャンペーンにより、下半期としては歴代1位となる516,008人（計画比5.5%増）となった。年間総入場者数は、計画の1,216,770人を大きく上回る1,263,206人と歴代2位の実績となった。

（1）入場者実績

（単位：人）

区 分	実績	計画	増減
一 般	727,927	736,235	△8,308
団 体 等	298,643	244,392	54,251
年間パスポート	29,577	28,017	1,560
年パス2回目以降	100,365	101,006	△641
有料入場者計	1,156,512	1,109,650	46,862
無料入場者	106,694	107,120	△426
総入場者	1,263,206	1,216,770	46,436

（2）飼育展示事業・調査研究事業

ア 魚類展示

「満足度日本一の展示を目指す」ことをテーマに、お客様を飽きさせない展示をスローガンに掲げ、イベントと連動しながら展示の変更を行った。具体的には、7月期に行った「サマーアクアワールド2024」において、開館時より変更がなかった「大洗の生物1」水槽で行っていたマイワシ展示をタカベに変更し、近年の高水温化による大洗近辺の生物相の変化にも言及する展示を行った。

また、人気の「IWASHI LIFE」においては秋季限定の演出を行うなど、リピーター確保のための取組なども行った。

「サメブランド」の強化としては、当館が得意とする「繁殖」を核に「超サメ展」を実施し、これまでの研究成果の発表の場とした。一方で新規種の導入のため、入手ルートの開発を行った。

また、飼育生物の健康維持のため、「出会いの海」「海藻の海」各水槽の汙過槽炉砂交換、経年劣化した水槽の塗装や槽内造形物の新規作成なども併せて行った。

このほか、より詳細な解説にも対応できるように「マンボウ」、「きらめく珊瑚礁の魚たち」、「熱帯～温帯海域のサメたち」各水槽の魚名板をデジタルサイネージに変更した。

(ア) 展示生物収集

各水槽の展示の充実を図るため、県内唯一の定置網漁を操業する久慈浜漁協会瀬支所や地元漁業者からの購入・寄贈、自家採集、他園館との生物交換等を実施した。

(展示生物収集実績)

収集方法	回数	種類数	点数	主な生物
会瀬定置網から購入	14	38	138	ホシザメ、マンボウ、キアンコウ、イトヒキアジ、イシガキフグ、ハリセンボン 他
活魚業者、漁業者から購入 (会瀬定置網を除く)	97	124	15,325	マイワシ、カラージェリー、オオテンジクザメ、デバスズメダイ、サラワクスウェルシャーク 他
漁業者等からの寄贈	43	36	980	イトマキフグ、マツカサウオ、イタチザメ、チャネルキャットフィッシュ、テナガエビ 他
県調査船 (いばらき丸) からの寄贈	5	5	10	テラオボタンエビ、ウルトラブンプク、サンゴノフトヒモ 他
自家採集 (涸沼、磯、大洗マリーナ等)	41	140	2,758	シラウオ、ヤドカリ類、カニ類、ヒトデ類、ウミウシ類、ツキチョウチョウウオ 他
生物交換【搬入】 (加茂水族館、ながわ水遊園、室蘭水族館、新江ノ島水族館、沼津港深海水族館、室戸廃校水族館、かごしま水族館、下田海中水族館、鴨川シーワールド、竹島水族館)	20	58	626	コティロリーザ・ツベルクラータ、メガネカスベ、ホッカイエビ、トゲカジカ、シンカイウリクラゲ、オオホモラ、アオリイカ、オオセ、ネコザメ、ホウライヒメジ、ウチワザメ、サムクラゲ、タカアシガニ、ショートテールナースシャーク他
生物交換【搬出】 (ながわ水遊園、室蘭水族館、新江ノ島水族館、かごしま水族館、竹島水族館)	9	25	513	ミクロラスボラ、サンゴトラザメ、ホーンシャーク、アラビアンカーベットシャーク、エバウレットシャーク、メジナ、スズキ、オジロバラハタ、ソウシハギ他

(イ) 生物展示の充実

- ・3月には世界初となるシロワニの同一個体の3期連続出産、日本初となる透明な殻の卵を産むサラワクスウェルシャークの展示を行い、サメブランドの定着に寄与した。
また、「きらめく珊瑚礁の魚たち」水槽のバリューアップ工事に伴い、メガネモチノウオなどを搬入し、魅力あふれる生物展示に尽力した。
- ・上流水槽でのヤマメの展示効果を上げるために実施した給餌体験は、延べ28,273人の参加者数となった。

(ウ) 生物の繁殖育成

- ・サメ・エイ類では世界初の同一個体による3期連続出産となったシロワニをはじめ、国内初繁殖のオーストラリアンマーブルキャットシャークやシマザメ、バンデッドサンドシャーク等14種361点を繁殖させた。
- ・硬骨魚類はウミタナゴ、アオビクニン2種73点を繁殖させた。
- ・クラゲ類では、キタユウレイクラゲやシロクラゲ等7種が繁殖し、一部展示に供した。
- ・水槽内で産卵したコウイカを192個体孵化させることに成功し、展示を行った。

(エ) 調査・研究

- ・県内の海岸に漂着したウミガメについて 10 件の調査を行い、調査機関との情報共有を行った。なお、衰弱した個体は館内にて治療を行い、アオウミガメ 1 個体については効果がみられたため、放流を行った。
- ・高知県室戸市佐喜浜漁港を起点に、現地漁師の協力のもと、深海生物の調査・採集を行い、採集したコトクラゲやアカシマダコなどは展示を行った。
- ・単為生殖によるトラフザメ幼魚の全長計測を月 1 回の頻度で実施し、成長に関するデータを集積した。
- ・東京大学大気海洋研究所のグループと、トラフザメの卵生成等に関する共同研究を通年継続し、試料として卵や生体の提供等を行った。
- ・大洗マリーナ内で 8 回の潜水目視調査を行い、季節ごとの来遊魚を観察し、一部収集したウミウシ類などを展示した。
- ・1 月にシロワニ繁殖協議会の参加園館として、小笠原諸島父島においてシロワニの生息数調査を行い、個体群調査とともに生息環境など飼育に必要なデータの収集に努めた。
- ・那珂川河口にて地引網調査を 6 回行い、採集した生物については「汽水の生物」水槽などにて展示を行った。

(オ) 研究発表

- ・共著論文発表

「Functional characterization of follicle-stimulating hormone and luteinizing hormone receptors in cloudy catshark, *Scyliorhinus torazame*

トラフザメにおける卵胞刺激ホルモンおよび黄体形成ホルモン受容体の機能的特徴」

ELSEVIER 2024 年 4 月

Shogo Arimura, Marty Kwok Shing Wong, Ryotaro Inoue, Mai Kawano, Koya Shimoyama, Chika Fujimori (東京大学大気海洋研究所), Kotaro Tokunaga (アクアワールド・大洗), Wataru Takagi, Susumu Hyodo (東京大学大気海洋研究所)

「Morphology of the unique egg cases of hornsharks (Heterodontiformes: Heterodontidae)

ネコザメ類の独特な卵殻の形態について」 *Journal of Fish Biology* 2024 年 10 月

Helen L. O'Neill (CSIRO), Kotaro Tokunaga (アクアワールド・大洗) and William T. White (CSIRO)

「Low microbial abundance and community diversity within the egg capsule of the oviparous cloudy catshark (*Scyliorhinus torazame*) during oviposition 産卵期のトラフザメの卵殻内における微生物量と多様性について」 *Environmental Microbiology Reports* 2024 年 10 月

Wataru Takagi, Ayami Masuda, Koya Shimoyama (東京大学大気海洋研究所), Kotaro Tokunaga (アクアワールド・大洗), Susumu Hyodo (東京大学大気海洋研究所), Yuki Sato-Takabe (東京大学農学部)

・口頭発表

「Dynamics and function of progesterone in the egg-laying cycle of cloudy catshark (Scyliorhinus torazame) トラザメの産卵周期におけるプロゲステロンの量的変化と機能」
International Congress on the Biology of Fish 2024 年 6 月

○Koya Shimoyama, Takuto Inoue (東京大学大気海洋研究所), Kotaro Tokunaga (アクアワールド・大洗), Wataru Takagi and Susumu Hyodo (東京大学大気海洋研究所)

「Photo-identification survey and movement of Sand tiger shark *Carcharias taurus*, at Ogasawara Archipelago in Japan 小笠原諸島におけるシロワニ *Carcharias taurus* の写真識別調査と移動」 American Elasmobranch Society 2024 年 7 月

○Masayuki Nakamura, Keisuke Kondo (マリナワールド海の中道), Reproductive Management Committee for Sand Tiger Sharks (シロワニ繁殖協議会)

「Reproduction and pup growth of the Sand tiger shark *Carcharias taurus* at Ibaraki Prefectural Oarai Aquarium, Japan アクアワールド茨城県大洗水族館におけるシロワニの繁殖と幼魚の成長について」 American Elasmobranch Society 2024 年 7 月

○Kotaro Tokunaga, Shinsuke Saito, Kazuhiro Shibagaki, Takashi Sakai, Junichi Fujimori (アクアワールド・大洗) : 優秀講演者賞受賞

・ポスター発表

「トラザメ卵胞培養下での卵成熟・排卵と組換え黄体形成ホルモンの作製」
第 48 回日本比較内分泌学会 2024 年 8 月

○井上遼太郎、有村省吾 (東京大学大気海洋研究所)、衣笠孝規 (北海道大学)、下山紘也、黄國成、高木互 (東京大学大気海洋研究所)、徳永幸太郎 (アクアワールド・大洗)、井尻成保 (北海道大学)、兵藤晋 (東京大学大気海洋研究所)

・書籍

オリジナルサメ書籍「サメ飼育員のさめばなし 徳永幸太郎 著(株式会社エムピージェー出版)」執筆販売 2025 年 1 月

(カ) 展示解説等

日中営業時の「バックヤードツアー」、ナイトアクアワールド時の「ナイトバックヤードツアー」では、サメやマンボウ、出会いの海の大水槽で飼育員による解説を実施した。また、「夏休み」「アフター茨城 DC」「超サメ展」に合わせ、給餌体験を組み込んだ「サメスペシャルツアー」を開催した。バックヤードの見学を希望する学校団体に対しては、臨時解説を実施したほか、「超サメ展」の期間にはバックヤードツアーを合わせた募集型ツアーを実施した。

区 分	場 所	回 数	参加者数
バックヤードツアー	5F バックヤード	延べ 297 回	4,893 人
ナイトバックヤードツアー	5F バックヤード	延べ 40 回	809 人
サメスペシャルツアー	5F バックヤード 1F 備蓄水槽	延べ 203 回	1,486 人
学校バックヤードツアー	5F バックヤード	延べ 44 校	1,779 人
一般団体バックヤードツアー	5F バックヤード	延べ 16 回	449 人

(キ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館水系展示水槽管理委託事業

県自然博物館の水系展示水槽の委託業務として、展示生物の入手及び水槽・水質の維持管理を行い、令和 7 年 3 月 31 日現在、ヤマメ・ゼニタナゴ・ネコザメ等 65 種 494 点を展示した。また、館外においては、大洗マリーナでの潜水採集、磯採集等で収集を行い、展示生物の充実を図ったほか、企画展「羊歯」では飼育難度の高いウミシダ類の展示、サイエンスデーでは、「磯の生物展示・解説」や「バックヤードツアー」事業に協力し、標本資料の保管、博物館の定期刊行誌に寄稿するなど、博物館との連携協力に努めた。

イ 海獣展示

オーシャンライブについては、館イベントの一環として特別バージョンライブを夏・秋・クリスマス・正月に実施したほか、秋の遠足シーズンにはクイズなどで学びの要素を多く取り入れた「レクチャーライブ」を開催した。また、茨城ロボッツとのコラボや茨城県警の交通安全キャンペーンへの協力、大洗町成人式、貸し切りイベント等での特別ライブ実施に対応した。

ナイトライブについては、令和 5 年 12 月より開始した新プログラム「MEETS the BEATS」を開催した。

一昨年度整備した「エキサイティングステージ」については、広いスペースを利用してカリフォルニアアシカの 2 頭出演の頻度を上げるなどライブの幅を広げるのに役立った。また、各種イベントではトークショーなど、集客イベントでの利用も進めている。

今シーズンは、全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生例が昨年度よりも多く、9 月 30 日から当館の防疫マニュアルに従い防疫体制に入った。その後、発生場所・件数によりレベルは変化したもの、令和 7 年 3 月 31 日時点で全国的な鎮静化には至らず、レベル 2 の防疫体制を維持している。

(ア) 展示の充実

- ・オーシャンライブでは、館内イベントと連携を図り、特別バージョンのライブを実施した。夏期ライブ「Splash & Water Fes」では、イルカパフォーマンスによる水しぶきを多めにして清涼感を強調したほか、初めての試みとしてカリフォルニアアシカの水中パフォーマンスを実施した。昨年度初めて実施した繁忙期の 1 日 8 回ライブも継続し、館内の混雑緩和と顧客満足度の向上に努めた。
- ・秋の遠足シーズンには、コロナ禍以降需要が戻りつつある遠足の子供たちに向けて、学びの要素を取り入れた「レクチャーライブ」を開催した。レクチャーライブ開催後には引率の先生向けにアンケート調査を行い、今後のライブを考えるための参考とした。
- ・地域連携として昨年度同様大洗町成人式や茨城県警から依頼のあった交通安全キャンペーン、茨城ロボッツとのコラボライブなどに対応した。
- ・鯨類・鰭脚類とも若齢個体のトレーニングをすすめ、老齢個体以外は通年でデイルイ

ブ・ナイトライブ出演が可能となった。

- ・ゴマフアザラシ 1 頭（メス；無償譲渡）を伊豆・三津シーパラダイスから、カリフォルニアアシカ（オス；ブリーディングローン）をアクアパーク品川から搬入し、ともに展示を開始した。将来的には繁殖へも関与させていく予定である。

（イ） 生物繁殖事業の推進

- ・バンドウイルカ（モモ）が令和 6 年 3 月 29 日に出産したメスの仔獣については、現在もホールディングプールにて順調に育成中である（令和 7 年 2 月 4 日時点で 108.8 kg）。
- ・バンドウイルカ 2 頭（レイ・シェル）の妊娠が確定し、経過観察中である。このうちレイの出産予定は令和 7 年 4 月から 5 月、シェルについては 10 月から 12 月ごろを見込んでいる。
- ・エトピリカは、11 卵の産卵があり 4 羽が孵化したが、感染症などで育雛中に 3 羽が死亡したため、1 羽は人工育雛に切り替え、順調に成長している。
- ・フンボルトペンギンは、77 卵の産卵があったが、近親交配などの理由でふ化可能ペアに限られるため育成は 4 卵にとどまった。4 個とも無事ふ化したものの、そのうち 1 羽は親鳥による育雛中に圧死し、3 羽が順調に生育している。
- ・カナダカワウソについては、令和 7 年 1 月 19 日に「ぽてと」が出産したが、死産であった（オス；119 g）。
- ・ゴマフアザラシについては、令和 7 年 2 月に「ひすい」と「しょうへい」による交尾が確認されている。

（ウ） 調査・研究活動の推進

漂着については、鯨類 13 件、鰭脚類 1 例の調査を実施し、各種データの収集に努めた。令和 6 年 4 月 14 日にひたちなか市阿字ヶ浦海岸で保護したキタオットセイについては、肺炎の症状と衰弱が見られたため治療を行ったが、6 月 27 日に死亡を確認した。また、東京大学・大気海洋研究所の研究テーマ「フンボルトペンギン塩類細胞の組織・発生学的研究」に対し、フンボルトペンギンの卵を提供した（令和 6 年 4 月分で終了）。

バンドウイルカの人工授精については、昨年同様新江ノ島水族館に当館のバンドウイルカ（ニック）の精子を提供（5 月 25 日、6 月 25 日、7 月 28 日）し、無事妊娠が確認されたが、令和 6 年 11 月に流産したとの報告を受けている。

（エ） 展示解説等

昨年度同様、6 種の「もぐもぐタイム」（カリフォルニアアシカ、ミナミアメリカオットセイ、フンボルトペンギン、カナダカワウソ、ゴマフアザラシ、エトピリカ）と 2 種の「おさんぽタイム」（カリフォルニアアシカ・フンボルトペンギン）を開催した。

なお、「ペンギンのおさんぽタイム」については、高病原性鳥インフルエンザの防疫措置として、10 月 24 日から 3 月 31 日まで中止した。

また、夏季の「アシカのおさんぽタイム」については季節イベントとして「打ち水バージョン」として行い、秋の「おさんぽタイム」については、「動物たちの大運動会」と称して、ペンギン・アシカ・オットセイの 3 種が初めて同時に出演するイベントに変更した。

特に秋の「大運動会」は新聞等でも取り上げられ好評を博したが、隣接県での高病原性鳥インフルエンザ発生を受けて、10 月 24 日以降はペンギンの出演を見合わせ、アシカ・オットセイのみの共演とした。

従来正月のイベントとして開催してきたカリフォルニアアシカの習字については、年内の早い時期から「アシカのお年賀フォトタイム」として開催した。11月30日から12月26日に毎日の通常プログラム「アシカのおさんぽタイム」後に行ったが、ちょうどこの時期に作成する「年賀状」と関連した解説を行うことでお客様の注目を集め、年末年始の話題提供となった。

付帯プログラムとしては、今年度初開催の「イルカとあそぼう」「イルカバックヤードツアー」を含む13プログラムを開催し、のべ21,589名の参加者を得た。特に初開催の「イルカバックヤードツアー」については、平日の開催が多かったにもかかわらず、参加率が96%と非常に好評で、アンケートの結果も97%の方から「満足」との評価をいただいた。

昨年度まで実施していた「エキサイティングシート」については、今年度より名称を「ベストビュー予約席」と改め価格も700円から500円とした結果、利用数が昨年度より89%も増加し、大きな収入源となった。

区 分	場 所	回 数	参加者数
イルカとふれあおう	ライブ用デモプール	15回	65人
イルカとあそぼう	ライブ用デモプール	13回	54人
ペンギンのごはん	ペンギン水槽	168回	3,002人
カワウソのごはん	カワウソ水槽	36回	135人
アシカのごはん	アシカ水槽	53回	245人
オットセイのごはん	オットセイ水槽	182回	965人
アシカと握手	アシカ水槽前	56回	990人
アシカの元気注入	アシカ水槽前	22回	177人
アシカの一筆入魂	アシカ水槽前 or ライブ会場	13回	75人
アシカフォト・イルカフォト	ライブ会場・オーシャンホール	2回	40人
イルカバックヤードツアー	ホールディングプール	54回	521人
イルカタッチ	ライブ会場	8回	150人
ベストビュー予約席	ライブ会場	147日	15,170人
計			21,589人

(3) 教育普及事業

生物や環境について、楽しみながら学ぶことができる活動を目的に館内外で解説・講習・自然体験塾等の活動を実施した。ホームページや機関誌を通して水族館に関連した各種情報提供に努めるとともに、県内施設や小中学校からの要請により講師を派遣し、生物に関する講習会を開催した。その他、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行った。

ア 発見体験学習

募集型事業として「自然体験塾」を開催し、上半期を中心に多くの応募があり、特にイルカ、ペンギン、サメに関連する講座は人気が高かった。

新規講座としてカワウソ飼育体験を開催した結果、倍率が10倍を超える人気ぶりであった。その他の講座ではビーチコーミング講座が雨天で実施できず、14講座23回の実施で295名が参加した。

イ ボランティア活動支援

ボランティアグループ「マンボラクラブ」の支援を行った。役員会の開催を2ヶ月に1回としWeb ミーティングを取り入れた。役員会では、要望の集約・活動課題、研修計画等の検討・整理を進めるとともに、クラブ会員数を随時募集して会員の活動内容の充実を図った。

ボランティア登録者数	44 人（令和7年3月31日現在）
活動時間	延べ 2,302 時間
活動者数	延べ 543 人

主な活動	内容
水族館主催イベントへの参加	5/25（土）自然体験塾（磯観察）2 名参加 5/26（日）「第3 回みんなの那珂川プロジェクト」4 名参加
ボランティア総会	6/23（日）総会開催、講演会実施
工作イベント	9/15（日）16（月）マンボラフェスタ、他（年3 回実施）
その他	生き物発見教室レクチャールームでの解説活動、館内案内活動。

ウ 機関誌「Sea 遊」の発行

水生生物等への理解促進を支援するとともに、水族館のイメージアップとPRを図るため、展示生物の興味深い生態やトピックス等の様々な情報を紹介する機関誌を年2 回発行し、国内の動物園・水族館をはじめ、県内教育機関及び栃木県の小中学校へ配付した。
（発行部数：46 号 4,000 部、47 号 4,000 部）

エ 自然教室等への講師派遣

教育機関等の要請に応じた各種館外活動に関しては、魚類展示課・海獣展示課と連携して実施及び調整を行った。

区 分	実施日	場所（対象）	内 容
講師派遣	6/9（日）	原子力科学館	生物関連
講師派遣	7/6（土）7（日）	平磯海岸（ひたちなか市内小学生）	生物関連（磯観察）
講師派遣	11/22（金）	水戸市立第四中学校	生物関連
講師派遣	12/21（土）	茨城県立図書館	生物関連
講師派遣	2/4（火）	大洗小学校	生物関連
講師派遣	3/23（日）	わくわく科学館	生物関連

オ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じて、水生生物や飼育設備等をテーマとして各種館内活動を行った。

区 分	対 象	件 数	参加者数
職場体験	中学生～高校生	19 件	42 人
バックヤード見学	小学生～大学・専門学校生	44 件	2,011 人

カ 実習生等の受入れ

大学や専門学校における単位取得の一環として飼育実習を受け入れた。
（魚類：12 名、海獣：5 名、計 17 名）

キ ラーケーション特割

令和6年4月に茨城県でラーケーションが導入されたことに伴い、同年7月から児童・生徒等のラーケーション活動を応援することを目的として、入場料を割引としたラーケーション特割を実施した（利用人数1,729人）。

なお、ラーケーション利用による割引施策は県内において初の試みであり、新聞等のメディアにも取り上げられるなど、ラーケーションの普及に貢献した。

（4）プロモーション活動（広報・営業）

令和6年度は、国内初繁殖のシマザメをはじめ、特別企画「超サメ展」の実施、さらには世界初となる3期連続のシロワニ繁殖成功など「サメの水族館」ブランドをさらに強化する話題のほか、イルカの誕生など年間を通して展示生物の話題も多く、水族館の魅力向上に繋がる情報発信ができた。

また、名前のないタコや年末年始に合わせたアシカのパフォーマンスなど展示生物に関する発信が全国放送のテレビ放送に繋がるなど、パブリシティによる露出にも多く成功した。

Web PRによる発信では大型IPコラボとの相性が良いため、掲載件数も多くなり、イベントの誘客に効果的なPRとなった。新たな総合ビジュアルを制作し、首都圏を対象とした大規模なプロモーションを実施したことで当館の認知度向上とともに、より遠方からの集客にも繋がった。多様な情報発信の結果、開館以来、歴代2位の入場者数を後押しする結果となった。

広報媒体については、WebやSNSによる情報発信を強化した。SNSは更新頻度を維持し、旬な情報を随時投稿したほか、イベントに合わせて投稿キャンペーンを行うなど、さらなるフォロー獲得と情報の拡散に努めた。

大洗周辺の営業活動では、周辺ホテルと連携した「宿泊プラン」において、年度当初17社と契約していたが、年度中に新規2社と契約し、販路拡大を図った。

また、閑散期対策として各種キャンペーンを実施し、利用促進に努めた。その他、ふるさと納税返礼品に年パス、体験型プログラムを提供し、販路拡大による収入増加を図った。さらに、年間パスポート販売促進事業として、大洗町内で年間パスポート特典の割引、プレゼント等が受けられる提携店が、今年度新たに10店舗（施設）加わり、合計13店舗に増加した。

ア 広報実績

WebおよびSNSを中心に情報発信を行い、今年度はイルカ誕生、シロワニ繁殖成功など年間を通して展示生物の繁殖に恵まれたことで、水族館らしい話題を通年で提供ができた。特に国内初の繁殖に成功したシマザメは情報発信から長期に渡って新聞や全国放送のテレビなどの取材機会を獲得し、大きな露出となった。アフター茨城DCは昨年の茨城DCほどの露出効果はなかったものの、NIGHT AQUAWORLDなどプログラムや季節催事も多くの新聞やテレビの全国放送で取り上げられ、誘客に直接繋げることができた。

区 分	有料広報			無料広報		
	R6 実績 (A)	R5 実績 (B)	増 減 (A)-(B)	R6 実績 (C)	R5 実績 (D)	増 減 (C)-(D)
新聞掲載	7 件	8 件	△1 件	168 件	162 件	6 件
タウン誌	1 件	0 件	1 件	1 件	2 件	△1 件
情報誌	0 件	0 件	0 件	34 件	30 件	4 件
広報誌	0 件	1 件	△1 件	14 件	21 件	△7 件
テレビ	1 件	0 件	1 件	79 件	86 件	△7 件
ラジオ	8 件	12 件	△4 件	6 件	16 件	△10 件
Web	417 件	286 件	131 件	76 件	177 件	△101 件
その他	32 件	30 件	2 件	4 件	10 件	△6 件
計	466 件	337 件	129 件	382 件	504 件	△122 件

(ア) 有料広報

上半期は大型 IP コラボイベントの開催に合わせた Google 広告をはじめ、8 月には新総合ビジュアルを使用した首都圏対象の大規模なプロモーションを実施した。鉄道広告や新たな媒体として LINE を使用した広告配信などにより、入場者増加に貢献した。

また、当館のサメ飼育展示を題材とするテレビ番組の企画に撮影協力した。

下半期は、特別企画「超サメ展」を広く訴求するため、鉄道広告のほか Google 広告と LINE 広告を実施した。学生を対象としたアクアワールド学割キャンペーンについては Instagram 広告を実施し、NIGHT AQUAWORLD は販促のため、定期的に Google 広告を実施するなど、常に新しい情報を発信することで、誘客に努めた。

さらに今年度は初めて、台湾及び香港を対象とした旅行情報サイト「ラーチーゴー！日本」へ記事を掲載し、訪日観光客の誘客にも力を入れた。

(イ) 無料広報

大人気キャラクターとの大型 IP コラボイベントをはじめ、特別企画「超サメ展」、県や町、他施設と協力した事業や季節催事とともに、年間を通してサメ類の繁殖など水族館ならではの生物の話題を発信した。昨年は茨城 DC や茨城県主催の台湾プロモーションイベントによりテレビなどに数多く取り上げられたため、今年は全体の件数としては減ったものの、生物を中心とした多様な話題提供が新聞記事やテレビなど多くの取材獲得に繋がり、広く露出することができた。

SNS においては X(旧 Twitter)と Instagram を中心に情報発信を行った。

X(旧 Twitter)は約 19 万 5 千人のフォロワー数を誇っており、生物情報、イベント情報、駐車場の満車状況など、様々な情報を発信した。その中でも「サメの水族館」のブランド定着もあり、サメ類のツイートの反応がよく、フォロワー数の増加に貢献した。Instagram については、新総合ビジュアルを使用した Instagram 広告による効果もあって、着実にフォロワーを増やし、3 万 3 千人を超え、生物情報を中心に URL リンクを利用したイベント PR など取り入れた多様な投稿を実施した。

イ 営業活動等

団体人数や入場料金、バックヤード体験等を特別に考慮したツアー造成プランを作成し、商圏（栃木、千葉、東京、埼玉、群馬、福島）内の実績のある旅行業者等を対象に営業活動を行った。県内外の学校へは、市町村教育委員会を通じ、利用案内資料をダイレクトメールで発送した。

また、インバウンドの団体誘致として、茨城県と協力して、商談会や現地イベントに合わせて台湾に年2回営業活動を行うなど、インバウンドの利用促進に力を入れた。

ユニークベニューは、ショートプラン（ウェディング前撮り）の新たな利用エリアとして栃木県（宇都宮市近辺）を加え、結婚式場や写真館への営業活動を行った。

（ア）営業活動

・ユニークベニュー利用誘致活動

ショートプランは、ウェディング前撮りを通して県内外の結婚式場や写真館との連携が強くなったことや利用したお客様の SNS により拡散したことで、利用実績が一番多く人気の高いメニューであった。一方、レギュラープランは、不定期であるが、ドラマ撮影、MV 撮影、婚活イベント、挙式等さまざまな用途があり、利用件数も前年度に対し、7件増加した。特に、アニメ「夜のクラゲは泳げない」とコラボしたイベント（11月24日）では、多くのファンが来場し、利用料収入を確保した。

○実績：件数 73 件、利用料収入：10,323 千円

件数内訳：レギュラープラン：11 件 ショートプラン：60 件 学校団体貸切：2 件

・県内外の観光業者等へのダイレクトメールの発送および訪問営業を行ったほか、県内、栃木、千葉、東京、埼玉、群馬、福島方面の旅行会社に営業活動を行った。

・アクアワールド学割キャンペーン（2/1～3/31）利用誘致活動

ホームページや SNS での周知のほか、茨城県を通じた高等学校へのデータ送信やホテル営業、周辺施設へのポスター掲示を行い、利用促進を図った。

○実績 1,978 人（目標：1,845 人）

・ホテル連携（宿泊プラン）

窓口業務の負担軽減のため、宿泊プラン提携による入場チケット発券について、FAX による依頼表送付からアソビューによる BtoB（企業間取引）システムへの移行を目指し、提携ホテルと交渉を行った結果、今年度中の全社移行を実現した。

年度当初において 17 社と宿泊プラン契約を結んでいたが、新規 2 社との契約を締結した（販売は令和 7 年度から開始予定）。

閑散期対策の販売促進キャンペーンとして、入場料金 1 割引キャンペーン（9/2～12/20）とオリジナルボールペンのプレゼントキャンペーン（1/6～2/28）を実施し、昨年度から大きく利用人数を伸ばすことができた。

また、「アクアワールド学割キャンペーン」に合わせて、学割プランキャンペーン（2/1～3/31）を実施し、高校生以上の学生限定で宿泊プラン利用者に対して入場料金 2 割引を行った。

・県内外の幼稚園・学校への情報発信

(単位：件数)

区 分	保育園等	小学校	中学校	高 校	合 計
茨城県	814	438	241	123	1,616
栃木県	230	326	149	70	775
埼玉県	50	504	0	130	684
千葉県	474	484	0	126	1,084
群馬県	—	246	0	69	315
福島県	120	177	91	85	473
合 計	1,688	2,175	481	603	4,947

(イ) 大洗町との関係強化

- ・ふるさと納税返礼品として、11月より新たに「飼育員体験ツアー」「年間パスポートとパスケースのセット商品」を提供した。
- ・年間パスポート販売促進の一環として、大洗町内 13 店舗による特典事業を継続し、年間パスポートの魅力をアピールした。
年度内に 4,200 件（昨年度比+1,430 件）の利用があり好評を得た。
※年間パスポート利用年間件数（上位 3 店舗）
ココス大洗店：1,753 件、メヒコ大洗店：611 件、大洗めんたいパーク：592 件
- ・大洗町成人式の開催（令和 7 年 1 月 12 日）
大洗町の「二十歳の集い式典」をオーシャンシアターにて貸し切りで開催し、「おめでとうオーシャンライブ」「全体集合記念撮影」等を行った。（参加者 129 名）。

(ウ) インバウンド誘致

- ・ツアー誘致では茨城県主催台湾観光イベントへの出展等で、台湾へ年 2 回（令和 6 年 9 月、令和 7 年 1 月）出張し、現地エージェントへ直接セールスや PR を行い、年度内に 138 件 3,342 名を誘致した。個人旅行客に対してはオンライン旅行代理店を活用し、インバウンドに特化したオンライン旅行代理店 1 社と新規に提携するなど、誘客を促進した。また、茨城県の補助金の採択を得て、透明翻訳ディスプレイの導入や特別プログラム用翻訳システム、多言語音声ガイドなどのインバウンド受入態勢の整備を行った。年度内の外国人入館者は 27,668 名。

(エ) オンライン会議

- ・横浜八景島の営業担当との情報共有やアドバイス（1 回/月）を受けた。

ウ 来館者調査の実施

- ・毎月第 4 日曜日等に車輛ナンバー調査を実施したほか、今年度は館内に QR コードを掲示し、来館者に対して Web でのアンケート調査を独自に実施した。
- ・車両調査では県内や栃木といった近隣地域からの来館が減少したが、首都圏を対象としたプロモーションの効果もあり、埼玉や東京などより遠方からの来館が増加する傾向となった。
また、アンケート調査では期間中に 5,367 件（回答率 0.42%）の回答を集め、総合満足度としては 83.3%が満足と回答した。

(5) 事業推進活動・オペレーション

ア 催事等

季節イベントとして、「レイニーアクアワールド」「SUMMER AQUAWORLD2024」「オータムアクアワールド」「アクアワールドクリスマス 2024」「新春アクアワールド」を実施した。内容は、オーシャンライブや特設水槽、館内装飾等において季節感溢れる演出や展示で、話題を提供するとともに誘客促進に努めた。

一方、IP コラボイベントとして「おでかけ子ザメ×アクアワールド・大洗」「すみっぐらし水族館×アクアワールド・大洗」「アクアワールド・大洗×夜のクラゲは泳げない」「アクアワールド・大洗×茨城ロボッツ」等を開催した。内容は、企画展示室での特別展示、特設水槽、キーワードラリー、キャラクター撮影会などイベントごとに多種多様であり、コラボするキャラクター等のファンを誘致するだけでなく、新たに水族館のファン層拡大を図った。

さらに、当館の強みを最大限に生かしたイベントとして「超サメ展～シャークダディ第2研究所～」を新春から年度をまたいで実施した。内容は、企画展示室で「サメ繁殖活動」について詳しく紹介する特別展示やサメ水槽を大幅に増やした展示、サメ好きとして有名なタレント、ココリコ田中直樹さんを1日館長としてお招きした当館サメ担当飼育員とのトークショーやバックヤードツアーなどであった。期間中、サメファンを魅力する展示や多様なイベントを展開し、サメに関する興味関心を促すとともに、誘客促進を図った。

また、県内他施設との連携イベントとして、ひたち海浜公園と協力し、季節を彩る花で装飾した水槽と花の色等をイメージした魚たちとのコラボ展示「ブルーミングアクアワールド」を年2回開催し、話題を提供した。

夜間営業は、GW・お盆等の繁忙日を除く毎週土曜日に実施した。上半期は、令和5年12月から実施したリニューアル効果で、入場者増が図れたが、11月以降は、入場者減の傾向が続いた。一方、特別ナイトとして実施した地元酒造会社とコラボした「宴夜 2024」は、話題性を集め新たなファン層に向けてアピールし、誘客促進を図ることができた。

(日中営業)

実施日	催事名	入場者数
4/13 (土) ～5/6 (月)	ブルーミングアクアワールド ネモフィラ	108,488 人
5/11 (日) ～7/7 (日)	おでかけ子ザメ×アクアワールド・大洗	176,441 人
6/15 (土) ～7/7 (日)	レイニーアクアワールド	
7/13 (土) ～10/27 (日)	すみっぐらし水族館×アクアワールド・大洗	642,299 人
7/13 (土) ～9/1 (日)	SUMMER AQUAWORLD 2024	
9/14 (土) ～11/17 (日)	オータムアクアワールド	
10/12 (土) ～10/31 (木)	ブルーミングアクアワールド コキア	
11/16 (土) ～12/15 (日)	アクアワールド・大洗×夜のクラゲは泳げない	
11/23 (土) ～12/25 (水)	アクアワールドクリスマス 2024	
12/28 (土) ～1/19 (日)	新春アクアワールド	
1/18 (土) ～5/6 (火・祝) (期間延長)	超サメ展～シャークダディ第2研究所～	287,872 人
2/1 (土) ～3/2 (日)	アクアワールド・大洗×茨城ロボッツ	
計	12 事業	1,215,100 人

※入場者数は、令和6年度内のイベント期間中の総入場者。ただし、イベント重複期間の人数の重複は除く。

(夜間営業)

実施日	催事名	入場者数
4/6 (土) 13 (土) 20 (土) 5/11 (土) 18 (土) 25 (土) 6/1 (土) 8 (土) 15 (土) 22 (土) 29 (土) 7/6 (土) 20 (土) 27 (土) 8/3 (土) 24 (土) 31 (土) 9/7 (土) 28 (土) 10/5 (土) 12 (土) 19 (土) 11/2 (土) 9 (土) 16 (土) 23 (土) 30 (土) 12/7 (土) 14 (土) 21 (土) 28 (土) 1/4 (土) 11 (土) 18 (土) 25 (土) 2/1 (土) 8 (土) 15 (土) 22 (土) 3/1 (土) 8 (土) 15 (土) 22 (土) 29 (土)	NIGHT AQUAWORLD	11,438 人
10/26 (土)	宴夜 2024	259 人
計	2 事業	11,697 人

イ Web 販売

ユーザビリティ向上や窓口・券売機の混雑緩和を目的とし、Web チケットによる事前購入を推進した。新規に 4 社のオンライン旅行代理店を導入した他、これまで窓口での会員証提示のみでの提携であった福利厚生アウトソーシングサービス提供企業の株式会社ベネフィット・ワンでも Web チケットによる事前決済を導入した。これらにより昨年度 23.3%であった Web 購入率は 27.6%に向上した。

(新規に導入した Web チケット)

導入サービス名	導入時期
じゃらん	令和 6 年 6 月下旬
ベネフィット・ワン	令和 6 年 11 月
大洗観光協会「常世國大洗 海の郷」	令和 6 年 11 月
kkday	令和 6 年 11 月
楽天トラベル 観光体験	令和 6 年 12 月

(誘客を目的とした特別 Web チケットの販売)

名称	販売期間
各種ナイト営業	毎週土曜日 (入場券、BY 付入場券等)
ホテル発券	入場券 (通年) キャンペーン (1 割引) : 9/2 (月) ~12/20 (金) アクアワールド学割 : 2/1 (土) ~3/31 (月)
おでかけ子ザメ限定ステッカー付き 日付指定 Web チケット	5/11 (土) ~7/7 (日)
すみっこぐらしステッカープレゼントキャンペーン 入場チケット第 1 弾、第 2 弾	7/13 (土) ~10/27 (日)
宴夜 2024 通常チケット、フード・オリジナルグ ラス付きチケット	10/26 (土)
アクアワールド・大洗×夜のクラゲは泳げない 限 定ノベルティ付きチケット	11/16 (土) ~12/15 (日)
ココリコ田中館長とまわるバックヤードツアー	3/15 (土)

(6) 管理運営部門

ア 管理運営

入場者の安全確保を図るため、有事の際に迅速な避難誘導を行えるよう通常実施している消防訓練のほか、地震による津波を想定した防災訓練を実施し、職員の危機管理対応力の向上に努めた。また、原発事故の風評被害払拭のため、放射線量測定を継続するとともに、測定した結果を当館ホームページに公表し安全性を周知した。さらに、館内の安全対策として、らせん階段脇廊下床の防滑工事を実施したほか、館内2か所に設置されている自動体外式除細動器（AED）の点検を毎日実施し、安心・安全の確保に努めた。

イ テナント関連事業

マーケットプレイス連絡会議の事業として、休館日を利用して先進施設視察研修を実施し、サンシャイン水族館及び複合商業施設サンシャインシティで、様々な形態のショップの視察等を行った。また、接遇については外部講師を招いて、ビジネスマナーの基本を改めて学び直し、クレーム対応やグループワークにより、スタッフとして相応しい接客スキルと顧客満足度の向上を目指した研修を実施した。

また、フードコートバルコニーに設置しているイス及びテーブルの塗装劣化に対応するため、古い塗装をはがし、下地を整えたうえで再塗装を実施することで、快適な食事環境の整備と長寿命化に努めた。

ウ 施設整備

中長期修繕計画を基本に、オーシャンゾーンウッドデッキ更新工事やブラインチラー更新他空調設備工事等、各種施設整備を計画的に実施するとともに、強風や高潮等の影響による修繕や経年劣化等の不具合による突発的な修繕に対応するなど、施設の安全・維持管理に努めたほか、駐車場の安全対策のため中央監視室前駐車場に車止めを増設するなど、延べ187件（昨年209件）の工事を実施し、より安心・安全な環境を整備した。

また、省エネルギーについては、省エネルギー委員会を毎月開催し、職員の省エネ意識の向上を図るとともに、省エネ対策として、上水や海水使用量、温度設定の見直しを進めたことに加え、LED誘導灯へ交換及び高効率のブラインチラーへ更新し省エネに努めた。

なお、夏の平均気温の大幅な上昇が影響し、エネルギー使用量が前年比1%削減を達成できず増加してしまったことから、今後、省エネ設備の更新に加え、不要な照明や機器の電源を切るなど組織を挙げて省エネルギーの推進へ努めていく。

3 収益事業1（水族館売店事業）

地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、マーケットプレイスの物販部門及び水族館内のコレクターズショップ、リラックスカフェの運営を行った。

(1) 物販部門

スーパーアショップ「モラモラ」においては、館内イベントに関連したオリジナル商品の展開を推し進め、新商品の開発・販売促進に努めた。IPコラボイベントに合わせた「おでかけ子ザメ」イベントでは、当館オリジナルイベントグッズの開発・販売を行い、好評につき全商品完売となった。また、「すみっこぐらし」の当館限定「えびふらいのしっぽ」シリーズ第5弾、えびふらいのしっぽ「かに」を販売し、「てのりぬいぐるみ」と「あつめてぬいぐるみ」の2種類を販売した。夏イベントの「すみっこぐらし水族館×アクアワールド・大洗」のコラボイベント商品の開発・販売や当館オリジナルガシャポン「すみっこぐらし ラバーキーホルダー」など、次々と新商品を開発・販売した。

また、「サメの特別企画～超サメ展～シャークダディ第2研究所～」では、当館のオリジナルのサメグッズを一堂に集め販売したほか、超サメ展に合わせた新規オリジナルグッズや書籍「さめばなし」を特設ワゴンにて展開し好評を博した。

コレクターズショップ「ガレオス」では、昨年に引き続きエアーくじ（景品：ぬいぐるみ）を実施したほか、数量限定で「サンゴトラザメの卵殻標本」や「当館シロワニの抜歯」を販売し完売した。

（２）飲食部門

リラックスカフェ「マーメイド」においては、イベントとタイアップした商品開発や季節メニューの開発・販売を行った。

イベントとのタイアップではコラボメニューに加え、今までにないドリンクの販売を行い好評を得たほか、宴夜に合わせた数量限定の「一夜限りのオードブル」、超サメ展に合わせた「シャークバーガー」や「アクアワールドフカヒレまん」を展開し高い評価を得た。またイベントメニューに合わせて、グランドメニューにも付加価値を付けたメニュー展開を行い、飲食部門として一体的に盛り上げた。

季節のメニューでは、レイニーアクアワールドに合わせて「アメフラシの卵！モンブラン」や地元食材を使用した「秋のいもづくしパフェ」などを提供した。

さらに、メニューに関するアンケート調査を実施し、結果を分析するとともにお客様満足度の向上と商品開発に活かしている。

（売上実績）

（単位：円）

物販部門		飲食部門	
区 分	売上額	区 分	売上額
モラモラ・ガレオス (R6 計画比) (R5 実績比)	971,279,234 (88,121,428) (56,120,192)	マーメイドギャラリー (R6 計画比) (R5 実績比)	134,688,610 (23,769,892) (16,233,501)
自動販売機 (R6 計画比) (R5 実績比)	17,435,216 (4,859,910) (3,487,396)	—	—
計 (R6 計画比) (R5 実績比)	988,714,450 (92,981,338) (59,607,588)	計 (R6 計画比) (R5 実績比)	134,688,610 (23,769,892) (16,233,501)
水族館売店事業合計 (R6 計画比) (R5 実績比)		1,123,403,060 (116,751,230) (75,841,089)	

（利用率）

物販部門		飲食部門	
総入場者数(A) (R5 実績)	1,263,206 人 (1,208,906 人)	総入場者数(A) (R5 実績)	1,263,206 人 (1,208,906 人)
利用件数(B) (R5 実績)	311,259 件 (295,160 件)	利用件数(B) (R5 実績)	90,706 件 (86,426 件)
利用率(B)/(A) (R5 実績)	24.6% (24.4%)	利用率(B)/(A) (R5 実績)	7.2% (7.1%)

※利用件数は、レシート発行数による利用

4 法人運営事業

茨城県立県民文化センターの指定管理業務終了に伴い、新たな体制での業務運営を行った。

財団業務の適切な運営を図るため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の適切な管理を行ったほか、事業資金確保のための積極的な資金運用を行い、財政基盤の強化に努めた。

また、DX 導入に向けた検討委員会の開催、人材確保を目的とした無期雇用制度設定及び賃金改定の実施、オンライン研修の継続実施による人材育成など、持続可能な財団経営の実現に向けての経営基盤強化を行った。

さらに、次期指定管理申請の検討委員会を定例的に開催し、将来の財団運営を見据えた各種意見交換及び情報の共有に努めた。

(1) 理事会・評議員会等開催実績

項 目	開催日	議 案
監事監査	5/9 (木)	令和 5 年度事業報告及び決算
令和 6 年度第 1 回理事会 (出席人数 9/12)	5/15 (水)	第 1 号議案：令和 5 年度事業報告及び決算について 第 2 号議案：令和 6 年度定時評議員会の招集について
令和 6 年度定時評議員会 (出席人数 6/11)	5/31 (金)	第 1 号議案：理事 1 名選任の件 第 2 号議案：令和 5 年度決算承認の件
令和 6 年度第 2 回理事会 (決議の省略による理事会)	5/31 (金)	議案：理事長選定の件
令和 6 年度第 3 回理事会 (決議の省略による理事会)	9/12 (木)	提案事項 1：臨時評議員会決議の省略の件 提案事項 2：評議員 2 名選任の件
令和 6 年度臨時評議員会 (決議の省略による評議員会)	9/30 (月)	提案事項：評議員 2 名選任の件
監事監査	11/25 (月)	令和 6 年度上半期事業報告及び決算
令和 6 年度第 4 回理事会 (出席人数 11/12)	3/19 日 (水)	第 1 号議案：令和 7 年度事業計画及び収支予算承認の件 第 2 号議案：諸規程の一部改正の件 第 3 号議案：令和 7 年度役員賠償責任保険継続加入の件 第 4 号議案：令和 6 年度臨時評議員会招集（決議の省略）の件
令和 6 年度臨時評議員会 (決議の省略による評議員会)	3/28 (金)	第 1 号議案：役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正の件 第 2 号議案：定款の一部変更の件

(2) 財団主催研修

研 修 名	実 施 日	内 容
オンライン研修	6 月～3 月	職員の専門性、自立性向上等カリキュラム

(3) 県電気料支援

電気料の高騰に伴い、茨城県から大洗水族館に対し支援がなされた。

(県支援額：10,595 千円)

Ⅱ 決 算 報 告 書

○ 正味財産増減計算書	21 ~ 22
○ 正味財産増減計算書内訳表	23 ~ 24
○ 貸借対照表	25 ~ 26
○ 計算書類に対する注記	27 ~ 30
○ 附属明細書	31
○ 財産目録	32 ~ 33

令和6年度 公益財団法人いばらき文化振興財団正味財産増減計算書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1)経常収益			
① 基本財産等運用益	312,900	312,900	0
基本財産等受取利息	312,900	312,900	0
② 特定資産運用益	5,082,336	2,543,941	2,538,395
退職給付引当資産運用益	1,109,539	619,188	490,351
積立資産運用益	3,972,797	1,924,753	2,048,044
③ 事業収益	3,144,411,350	3,280,472,761	△ 138,530,913
自主公演入場料収益	6,401,600	27,716,925	△ 21,315,325
受託公演入場料収益	0	0	0
手数料収益	69,320	12,061,987	△ 11,992,667
負担金収益	0	2,543,412	△ 2,543,412
受託公演委託金収益	58,478,577	28,296,527	30,182,050
県民文化センター指定管理収益	0	193,372,169	△ 193,372,169
県民文化センター利用料収益	0	90,021,598	△ 90,021,598
自然博物館水系展示水槽 管理委託金収益	18,079,981	17,373,302	706,679
水族館入場料収益	1,935,509,310	1,833,209,110	102,300,200
飲食料収益	0	0	0
売店収益	1,123,403,060	1,049,705,391	73,697,669
駐車場利用料収益	0	26,172,340	△ 26,172,340
協賛金収益	2,469,502	0	2,469,502
④ 受取補助金等	54,559,851	67,581,841	△ 13,021,990
受取県補助金	1,842,851	2,000,000	△ 157,149
受取財団運営費補助金	35,724,000	49,669,442	△ 13,945,442
県有施設支援金収益	10,595,000	0	10,595,000
受取助成金	6,398,000	15,912,399	△ 9,514,399
⑤ 雑収益	107,173,763	84,472,046	22,701,717
雑収益	107,173,763	84,472,046	22,701,717
⑥ 指定正味財産からの振替額	0	0	0
経常収益計(A)	3,311,540,200	3,435,383,489	△ 123,843,289
(2)経常費用			
① 事 業 費	2,964,683,282	2,861,646,596	103,036,686
文化活動団体等助成金	10,027,000	18,995,000	△ 8,968,000
役員報酬	11,853,341	12,106,374	△ 253,033
給料手当	515,034,085	557,467,951	△ 42,433,866
臨時雇賃金	6,196,522	7,278,453	△ 1,081,931
福利厚生費	6,613,173	6,799,988	△ 186,815
法定福利費	81,206,219	89,343,543	△ 8,137,324
報償費	13,898,810	10,206,147	3,692,663
旅費交通費	6,256,952	2,845,456	3,411,496
接待交際費	23,000	20,000	3,000
消耗品費	71,933,910	91,320,476	△ 19,386,566
燃料費	65,988,157	65,891,356	96,801
会議費	527,514	505,837	21,677
印刷製本費	11,078,186	10,884,356	193,830
光熱水料費	227,172,946	253,921,220	△ 26,748,274
修繕費	51,054,262	63,361,721	△ 12,307,459
飼料費	36,077,127	30,501,502	5,575,625
医薬材料費	2,528,571	2,623,889	△ 95,318
賄材料費	55,068,868	47,767,107	7,301,761
通信運搬費	2,551,572	4,427,017	△ 1,875,445
広告宣伝費	26,968,300	14,750,450	12,217,850
支払手数料	119,850,558	112,664,033	7,186,525
保険料	1,161,476	1,737,315	△ 575,839
委託費	544,966,600	604,082,123	△ 59,115,523
賃借料	34,733,732	36,448,330	△ 1,714,598

(単位:円)

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
	工事請負費	17,726,445	68,968,389	△ 51,241,944
	原材料費	603,572,735	566,026,241	37,546,494
	生物購入費	11,652,360	5,357,496	6,294,864
	消耗備品費	0	0	0
	支払負担金	3,838,264	4,338,458	△ 500,194
	租税公課	139,509,778	130,170,105	9,339,673
	退職給付費用	27,890,437	26,039,604	1,850,833
	雑 費	9,447	0	9,447
	修繕工事負担金	243,765,500	0	243,765,500
	県納付金	0	0	0
	減価償却費	13,947,435	14,796,659	△ 849,224
②	管理費	13,946,009	14,682,519	△ 736,510
	役員報酬	1,272,410	1,498,475	△ 226,065
	給料手当	2,589,079	3,953,251	△ 1,364,172
	臨時雇賃金	0	0	0
	福利厚生費	134,954	58,269	76,685
	法定福利費	542,210	785,597	△ 243,387
	報償費	0	0	0
	旅費交通費	204,000	176,704	27,296
	接待交際費	10,000	0	10,000
	消耗品費	443,475	672,955	△ 229,480
	燃料費	17,826	34,183	△ 16,357
	会議費	410,222	7,236	402,986
	印刷製本費	544,991	467,659	77,332
	光熱水料費	206,956	209,618	△ 2,662
	修繕費	67,100	102,878	△ 35,778
	医薬材料費	0	0	0
	通信運搬費	403,562	384,921	18,641
	広告宣伝費	0	0	0
	支払手数料	156,406	480,645	△ 324,239
	保険料	219,470	206,920	12,550
	委託費	1,651,608	1,365,923	285,685
	賃借料	1,613,795	1,023,512	590,283
	支払負担金	1,731,412	1,099,013	632,399
	租税公課	46,472	63,795	△ 17,323
	退職給付費用	1,162,102	2,050,584	△ 888,482
	雑費	0	0	0
	減価償却費	517,959	40,381	477,578
経常費用計(B)		2,978,629,291	2,876,329,115	102,300,176
当期経常増減額(A)-(B)		332,910,909	559,054,374	△ 226,143,465
2	経常外増減の部			
(1)	経常外収益			
	固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計(C)		0	0	0
(2)	経常外費用			
①	固定資産除去損			
	固定資産売却・除却損	10	341,908	△ 341,898
経常外費用計(D)		10	341,908	△ 341,898
当期経常外増減額(C)-(D)		△ 10	△ 341,908	341,898
当期一般正味財産増減額		332,910,899	558,712,466	△ 225,801,567
一般正味財産期首残高		2,217,787,312	1,659,074,846	558,712,466
一般正味財産期末残高		2,550,698,211	2,217,787,312	332,910,899
II	指定正味財産増減の部			
①	一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		565,000,000	565,000,000	0
指定正味財産期末残高		565,000,000	565,000,000	0
III	正味財産期末残高	3,115,698,211	2,782,787,312	332,910,899

令和6年度 公益財団法人いばらき文化振興財団正味財産増減計算書内訳表
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科目 \ 区分	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	公1 文化 振興 事業	公2 水族 館事 業	小 計	収1 水族 館売 店事 業		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1)経常収益						
① 基本財産等運用益	312,900	0	312,900	0	0	312,900
② 特定資産運用益	2,372,430	2,390,596	4,763,026	274,877	44,433	5,082,336
③ 事業収益	67,418,999	1,953,589,291	2,021,008,290	1,123,403,060	0	3,144,411,350
自主公演入場料収益	6,401,600	0	6,401,600	0	0	6,401,600
受託公演入場料収益	0	0	0	0	0	0
手数料収益	69,320	0	69,320	0	0	69,320
負担金収益	0	0	0	0	0	0
受託公演委託金収益	58,478,577	0	58,478,577	0	0	58,478,577
県民文化センター指定管理収益	0	0	0	0	0	0
県民文化センター利用料収益	0	0	0	0	0	0
自然博物館水系展示水槽管理委託金収益	0	18,079,981	18,079,981	0	0	18,079,981
水族館入場料収益	0	1,935,509,310	1,935,509,310	0	0	1,935,509,310
売店収益	0	0	0	1,123,403,060	0	1,123,403,060
駐車場利用料収益	0	0	0	0	0	0
協賛金収益	2,469,502	0	2,469,502	0	0	2,469,502
④ 受取補助金等	7,773,041	31,946,086	39,719,127	1,377,350	13,463,374	54,559,851
受取県補助金	1,842,851	0	1,842,851	0	0	1,842,851
受取財団運営費補助金	3,330,190	18,930,436	22,260,626	0	13,463,374	35,724,000
県有施設支援金収益	0	9,217,650	9,217,650	1,377,350	0	10,595,000
受取助成金	2,600,000	3,798,000	6,398,000	0	0	6,398,000
⑤ 雑収益	746,398	80,606,907	81,353,305	25,382,256	438,202	107,173,763
雑収益	746,398	80,606,907	81,353,305	25,382,256	438,202	107,173,763
⑥ 指定正味財産からの振替額	0	0	0	0	0	0
経常収益計(A)	78,623,768	2,068,532,880	2,147,156,648	1,150,437,543	13,946,009	3,311,540,200
(2)経常費用						
① 事業費	97,471,285	1,782,463,000	1,879,934,285	1,084,748,997		2,964,683,282
文化活動団体等助成金	10,027,000	0	10,027,000	0		10,027,000
役員報酬	3,042,141	7,692,709	10,734,850	1,118,491		11,853,341
給与手当	28,781,441	386,098,426	414,879,867	100,154,218		515,034,085
臨時雇賃金	219,689	2,802,866	3,022,555	3,173,967		6,196,522
福利厚生費	304,309	5,351,681	5,655,990	957,183		6,613,173
法定福利費	5,101,419	61,470,540	66,571,959	14,634,260		81,206,219
報償費	13,898,810	0	13,898,810	0		13,898,810
旅費交通費	620,625	5,315,521	5,936,146	320,806		6,256,952
接待交際費	3,000	20,000	23,000	0		23,000
消耗品費	3,024,338	44,600,819	47,625,157	24,308,753		71,933,910
燃料費	269,553	57,139,439	57,408,992	8,579,165		65,988,157
会議費	392,894	103,657	496,551	30,963		527,514
印刷製本費	1,638,320	6,932,438	8,570,758	2,507,428		11,078,186
光熱水料費	0	197,640,463	197,640,463	29,532,483		227,172,946
修繕費	0	47,978,861	47,978,861	3,075,401		51,054,262
飼料費	0	36,077,127	36,077,127	0		36,077,127
医薬材料費	0	2,199,857	2,199,857	328,714		2,528,571
賄材料費	0	0	0	55,068,868		55,068,868
通信運搬費	382,806	1,563,302	1,946,108	605,464		2,551,572
広告宣伝費	874,800	26,093,500	26,968,300	0		26,968,300
支払手数料	1,361,472	61,229,310	62,590,782	57,259,776		119,850,558
保険料	0	819,928	819,928	341,548		1,161,476
委託費	18,790,020	443,207,088	461,997,108	82,969,492		544,966,600
賃借料	3,895,333	23,388,788	27,284,121	7,449,611		34,733,732
工事請負費	0	17,190,052	17,190,052	536,393		17,726,445
原材料費	0	0	0	603,572,735		603,572,735
生物購入費	0	11,652,360	11,652,360	0		11,652,360

(単位:円)

科目 \ 区分		公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合計
		公1 文化 振興 事業	公2 水族 館事 業	小計	収1 水族 館売 店事 業		
	支払負担金	0	2,427,243	2,427,243	1,411,021		3,838,264
	租税公課	3,100,163	73,596,265	76,696,428	62,813,350		139,509,778
	退職給付費用	1,743,152	20,046,252	21,789,404	6,101,033		27,890,437
	雑費	0	4,650	4,650	4,797		9,447
	修繕工事負担金	0	228,994,315	228,994,315	14,771,185		243,765,500
	県納付金	0	0	0	0		0
	減価償却費	0	10,825,543	10,825,543	3,121,892		13,947,435
②	管理費					13,946,009	13,946,009
	役員報酬					1,272,410	1,272,410
	給料手当					2,589,079	2,589,079
	臨時雇賃金					0	0
	福利厚生費					134,954	134,954
	法定福利費					542,210	542,210
	報償費					0	0
	旅費交通費					204,000	204,000
	接待交際費					10,000	10,000
	消耗品費					443,475	443,475
	燃料費					17,826	17,826
	会議費					410,222	410,222
	印刷製本費					544,991	544,991
	光熱水料費					206,956	206,956
	修繕費					67,100	67,100
	医薬材料費					0	0
	通信運搬費					403,562	403,562
	広告宣伝費					0	0
	支払手数料					156,406	156,406
	保険料					219,470	219,470
	委託費					1,651,608	1,651,608
	賃借料					1,613,795	1,613,795
	支払負担金					1,731,412	1,731,412
	租税公課					46,472	46,472
	退職給付費用					1,162,102	1,162,102
	雑費					0	0
	減価償却費					517,959	517,959
経常費用計(B)		97,471,285	1,782,463,000	1,879,934,285	1,084,748,997	13,946,009	2,978,629,291
当期経常増減額(A)-(B)		△ 18,847,517	286,069,880	267,222,363	65,688,546	0	332,910,909
2	経常外増減の部						
	(1)経常外収益						
経常外収益計(C)		0	0	0	0	0	0
	(2)経常外費用						
①	固定資産除去損	0	10	10	0	0	10
	固定資産除却損	0	10	10	0	0	10
経常外費用計(D)		0	10	10	0	0	10
当期経常外増減額(C)-(D)		0	△ 10	△ 10	0	0	△ 10
他会計振替額(E)		0	30,292,918	30,292,918	△ 30,292,918	0	0
当期一般正味財産増減額		△ 18,847,517	316,362,788	297,515,271	35,395,628	0	332,910,899
一般正味財産期首残高		148,211,158	1,541,536,105	1,689,747,263	459,147,166	68,892,883	2,217,787,312
一般正味財産期末残高		129,363,641	1,857,898,893	1,987,262,534	494,542,794	68,892,883	2,550,698,211
II	指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0
①	一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額		0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		565,000,000	0	565,000,000	0	0	565,000,000
指定正味財産期末残高		565,000,000	0	565,000,000	0	0	565,000,000
III	正味財産期末残高	694,363,641	1,857,898,893	2,552,262,534	494,542,794	68,892,883	3,115,698,211

公益財団法人いばらき文化振興財団貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	43,479,830	60,436,709	△ 16,956,879
預金	858,346,967	598,356,487	259,990,480
普通預金	658,346,967	598,356,487	59,990,480
定期預金	200,000,000	0	200,000,000
有価証券	0	0	0
前払費用	80,667	34,470	46,197
仮払金	5,084,813	6,733,547	△ 1,648,734
未収金	136,421,369	82,835,555	53,585,814
貯蔵品	36,561,840	32,526,026	4,035,814
流動資産合計	1,079,975,486	780,922,794	299,052,692
2 固定資産			
(1) 基本財産等			
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
茨城県債貸付	30,000,000	30,000,000	0
基金財産	0	0	0
有価証券	0	0	0
普通預金	0	0	0
基本財産等合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	507,460,040	517,742,682	△ 10,282,642
助成事業積立資産	535,000,000	535,000,000	0
文化振興事業積立資産	58,343,576	58,343,576	0
施設設備修繕等積立資産	216,626,991	216,304,883	322,108
事業資金積立資産	213,787,820	213,427,630	360,190
緊急時対応積立資産	384,926,334	349,821,964	35,104,370
特定費用準備資金	797,611,858	940,000,000	△ 142,388,142
文化活動助成事業資金	0	0	0
第二期文化活動助成事業資金	8,962,712	20,000,000	△ 11,037,288
水族館大規模修繕等準備資金	788,649,146	920,000,000	△ 131,350,854
資産取得資金	0	0	0
減価償却資産取得資金	0	0	0
特定資産合計	2,713,756,619	2,830,640,735	△ 116,884,116
(3) その他固定資産			
建物	0	0	0
建物減価償却累計額	0	0	0
構築物	36,375,097	36,375,097	0
構築物減価償却累計額	△ 32,847,165	△ 32,088,320	△ 758,845
車両運搬具	5,166,354	3,901,354	1,265,000
車両運搬具減価償却累計額	△ 4,059,477	△ 3,714,903	△ 344,574
什器備品	191,180,568	185,840,238	5,340,330
什器備品減価償却累計額	△ 164,955,029	△ 157,964,238	△ 6,990,791
リース資産	40,361,760	40,361,760	0
リース資産減価償却累計額	△ 40,361,760	△ 38,064,960	△ 2,296,800
電話加入権	307,545	307,545	0
投資有価証券	50,000	50,000	0
ソフトウェア	1,628,000	1,628,000	0
ソフトウェア減価償却累計額	△ 788,333	△ 462,733	△ 325,600
その他固定資産合計	32,057,560	36,168,840	△ 4,111,280
固定資産合計	2,775,814,179	2,896,809,575	△ 120,995,396
資 産 合 計	3,855,789,665	3,677,732,369	178,057,296

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	213,235,251	332,379,961	△ 119,144,710
仮受金	19,176,163	42,415,614	△ 23,239,451
前受金	220,000	110,000	110,000
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	232,631,414	374,905,575	△ 142,274,161
2 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	507,460,040	517,742,682	△ 10,282,642
リース債務	0	2,296,800	△ 2,296,800
仮受金	0	0	0
固定負債合計	507,460,040	520,039,482	△ 12,579,442
負 債 合 計	740,091,454	894,945,057	△ 154,853,603
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産	565,000,000	565,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(535,000,000)	(535,000,000)	(0)
2 一般正味財産	2,550,698,211	2,217,787,312	332,910,899
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,671,296,579)	(1,777,898,053)	(△ 106,601,474)
正味財産合計	3,115,698,211	2,782,787,312	332,910,899
負債及び正味財産合計	3,855,789,665	3,677,732,369	178,057,296

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券は取得額をもって計上しているが、取得額が債券金額より低い価額又は高い価額の場合には、償却原価法（定額法）にて処理している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価基準を採用している。

(3) 固定資産の減価償却について

① 固定資産の減価償却は、定率法によっている。

（会計方針の変更）

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得したもののについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しているが、これに伴う影響は軽微である。

（追加情報）

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、その残存簿価を償却可能限度額に達した事業年度の翌事業年度以後5年間で備忘価額まで均等償却を行う方法によっているが、これに伴う影響は軽微である。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 退職給付引当金の計上基準について

勧奨及び自己都合による退職金要支給額を計上する。（100%計上済み。）

(5) リース取引の会計処理について

① 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

車両運搬具、什器備品

② リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

（ア） リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	リース資産
取得価額相当額	40,361,760
減価償却累計額相当額	40,361,760
期末残高相当額	0

（イ） 未経過リース料期末残高相当額

取得価額相当額	0

（ウ） 当期の支払リース料、減価償却費相当額

支払リース料	2,296,800
減価償却費相当額	2,296,800

（エ） 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(1) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
茨城県債貸付(金銭消費貸借契約)	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	517,742,682	29,052,539	39,335,181	507,460,040
助成事業積立資産	535,000,000	0	0	535,000,000
文化振興事業積立資産	58,343,576	0	0	58,343,576
施設設備修繕等積立資産	216,304,883	322,108	0	216,626,991
事業資金積立資産	213,427,630	360,190	0	213,787,820
緊急時対応積立資産	349,821,964	35,104,370	0	384,926,334
第二期文化活動助成事業資金	20,000,000	237,712	11,275,000	8,962,712
水族館大規模修繕等準備資金	920,000,000	51,473,271	182,824,125	788,649,146
小 計	2,830,640,735	116,550,190	233,434,306	2,713,756,619
合 計	2,860,640,735	116,550,190	233,434,306	2,743,756,619

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
茨城県債貸付(金銭消費貸借契約)	30,000,000	(30,000,000)	—	—
小 計	30,000,000	(30,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	507,460,040	—	—	(507,460,040)
助成事業積立資産	535,000,000	(535,000,000)	—	—
文化振興事業積立資産	58,343,576	—	(58,343,576)	—
施設設備修繕等積立資産	216,626,991	—	(216,626,991)	—
事業資金積立資産	213,787,820	—	(213,787,820)	—
緊急時対応積立資産	384,926,334	—	(384,926,334)	—
第二期文化活動助成事業資金	8,962,712	—	(8,962,712)	—
水族館大規模修繕等準備資金	788,649,146	—	(788,649,146)	—
減価償却資産取得資金	0	—	(0)	—
小 計	2,713,756,619	(535,000,000)	(1,671,296,579)	(507,460,040)
合 計	2,743,756,619	(565,000,000)	(1,671,296,579)	(507,460,040)

4 固定資産の取得価額，減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額，減価償却累計額及び当期末残高は，次のとおりである。

単位：円

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(建物付属設備)	(0)	(0)	(0)
建物付属設備	0	0	0
(構築物)	(36, 375, 097)	(32, 847, 165)	(3, 527, 932)
構築物	36, 375, 097	32, 847, 165	3, 527, 932
(車両運搬具)	(5, 166, 354)	(4, 059, 477)	(1, 106, 877)
車両運搬具	5, 166, 354	4, 059, 477	1, 106, 877
(器具・備品)	(191, 180, 568)	(164, 955, 029)	(26, 225, 539)
器具・備品	191, 180, 568	164, 955, 029	26, 225, 539
(電話加入権)	(307, 545)	(0)	(307, 545)
電話加入権	307, 545	0	307, 545
(リース資産)	(40, 361, 760)	(40, 361, 760)	(0)
リース資産	40, 361, 760	40, 361, 760	0
(投資有価証券)	(50, 000)	(0)	(50, 000)
投資有価証券	50, 000	0	50, 000
(ソフトウェア)	(1, 628, 000)	(788, 333)	(839, 667)
ソフトウェア	1, 628, 000	788, 333	839, 667
合 計	273, 441, 324	242, 223, 431	32, 057, 560

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額，時価及び評価損益は，次のとおりである。

単位：円

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益	備 考
(退職給付引当資産)	(300, 000, 000)	(288, 720, 000)	(△ 11, 280, 000)	
共同発行市場公募地方債	100, 000, 000	92, 560, 000	△ 7, 440, 000	大和証券
東京電力パワーグリッド社債	100, 000, 000	98, 080, 000	△ 1, 920, 000	みずほ証券
西日本高速道路債券	100, 000, 000	98, 080, 000	△ 1, 920, 000	みずほ証券
合 計	300, 000, 000	288, 720, 000	△ 11, 280, 000	

6 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

単位：円

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
財団運営費補助金	茨城県	0	35,724,000	35,724,000	0	一般正味財産
茨城県新人演奏会補助金	茨城県	0	1,842,851	1,842,851	0	一般正味財産
電気料等対策事業補助金	茨城県		10,595,000	10,595,000	0	一般正味財産
助成金収益	公益財団法人 常陽藝文センター	0	600,000	600,000	0	一般正味財産
	茨城県	0	3,798,000	3,798,000	0	一般正味財産
	(公財)茨城新聞 文化福祉事業団	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
	げんでんふれあい茨 城財団	0	1,700,000	1,700,000	0	一般正味財産
合 計		0	54,559,851	54,559,851	0	一般正味財産

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は，次のとおりである。

単位：円

内 容	金 額
経常収益への振替額	
文化活動助成事業資金取崩額分一般正 味財産への振替額	0
合 計	0

8 引当金の明細

単位：円

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	517,742,682	29,052,539	39,335,181	0	507,460,040

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定財産の明細は、計算書類に対する注記 2，基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載のとおりである。

2 引当金の明細

引当金の明細は、計算書類に対する注記 8，引当金の明細に記載のとおりである。

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	年度末売上金及び運転資金として	43,479,830
				(858,346,967)
	普通預金 常陽銀行県庁支店 常陽銀行大洗支店 住信SBIネット銀行法人第一支店 茨城県信用組合千波支店 大和ネクスト銀行 定期預金 常陽銀行大洗支店			184,941,436
				469,154,444
				937
				2,250
				4,247,900
				200,000,000
	前払費用	法人運営部門	zoom Pro前払費用等	80,667
	仮払金	文化振興部門ほか 他	会計間の繰入支出戻入分及び保険料 個人負担分 他	5,084,813
	未収金	事業に係る未収額 他	入場料収入, 県委託金収入 他	136,421,369
	貯蔵品	カフェ, 売店商品	翌年度事業に供する貯蔵品	36,561,840
流動資産合計				1,079,975,486
(固定資産)				
基本財産	基本財産	茨城県債貸付	公益目的保有財産として保有し, 運用益を 公益目的事業に使用	<30,000,000> 30,000,000
特定資産	退職給付引当資産		職員に対する退職金の支給に備えるため	<2,704,793,907> (507,460,040)
	普通預金 常陽銀行県庁支店 住信SBIネット銀行法人第一支店 水戸信用金庫本店 大和ネクスト銀行 定期預金 水戸信用金庫本店 有価証券 共同発行市場公募地方債 西日本高速道路債 第74回東京電力パワーグリッド社債			157,500
				10,788
				157,829
				35,133,923
				172,000,000
				100,000,000
				100,000,000
				100,000,000
	助成事業積立資産	茨城県債貸付	公益目的保有財産として保有し, 運用益を 文化活動助成事業に使用	(535,000,000) 535,000,000
	文化振興事業積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 三井住友銀行水戸支店 有価証券 第37回三菱UFJフィナンシャル グループ期限前劣後免除特約付	公1の文化振興事業に使用	(58,343,576) 8,320,562 9,206 13,808 50,000,000
	施設設備修繕等積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 有価証券 第190回日本政策投資銀行	公2及び収1の水族館に係る施設設備の 修繕等を使用	(216,626,991) 1,622,871 1,050 100,000,000 15,003,070 100,000,000
	事業資金積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 定期預金 茨城県信用組合千波支店 有価証券 第37回三菱UFJフィナンシャル グループ期限前劣後免除特約付 第93回西日本高速道路債	公2の水族館に係る展示替え等 将来の事業運営に係る事業継続等 等を使用	(213,787,820) 53,770,386 17,434 40,000,000 20,000,000 100,000,000

その他固定資産	緊急時対応積立資産	普通預金 常陽銀行県庁支店 常陽銀行大洗支店 茨城県信用組合千波支店 筑波銀行泉町支店 定期預金 茨城県信用組合千波支店 筑波銀行泉町支店 常陽銀行県庁支店 有価証券 第37回三菱UFJフィナンシャル グループ期限前劣後免除特約付	公2の水族館に係る緊急時の事業継続等に使用 将来の事業運営に係る事業継続等に使用	(384,926,334) 1,299,312 35,000,000 2,595 89,717 166,534,710 110,000,000 52,000,000 20,000,000
	特定費用準備資金 第二期文化活動 事業資金	普通預金 常陽銀行県庁支店	文化活動助成事業に使用	[788,649,146] 8,962,712
	水族館大規模修繕等 準備資金	普通預金 常陽銀行大洗支店 常陽銀行県庁支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 有価証券 第91回西日本高速道路債	県直轄大規模修繕等工事に使用	[788,649,146] 50,593,000 6,934,646 431,121,500 200,000,000 100,000,000
	構築物	大洗町磯浜町8252-3 他 ホールディングプール下倉庫 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	(32,057,560) 3,527,932
	車両運搬具	大洗町磯浜町8252-3 アクセラ、フォークリフト 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	1,106,877
	什器備品	水戸市千波町東久保697 他 金庫、勤怠管理システム 他 料金所エアコン 他 セミクジラ骨格標本 他	公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している	26,225,539
	電話加入権	水戸市千波町東久保697	公益目的事業の用に供している	307,545
	投資有価証券	茨城県信用組合千波支店	茨城県信用組合への出資	50,000
	ソフトウェア			1,628,000 △ 788,333
固定資産合計				2,775,814,179
資産合計				3,855,789,665
(流動負債)	未払金	事業に係る未払額 他	文化活動団体への助成金未払い 退職金、電気料 他	213,235,251
	仮受金	事業に係る仮受額 他	振込手数料仮受 他	19,176,163
	前受金	事業に係る前受額 他	ユニークベニュー	220,000
流動負債合計				232,631,414
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支給に備えたもの	507,460,040
固定負債合計				507,460,040
負債合計				740,091,454
正味財産				3,115,698,211

